



ユニフェム東京 NEWS

Vol.31

2010. 7. 30

NPO法人ユニフェム（国連女性開発基金）日本国内委員会／東京地域委員会

連続 講座「国連とユニフェム」

第1回 国連と女性をめぐる問題「CSW・北京+15」の 報告

5月26日（水）午後1時30分より津田塾大学同窓会会議室で、この3月にニューヨークで開催された第54回国連婦人の地位委員会（CSW）に参加した吉川真由美氏（ユニフェム日本国内委員会常任理事）を迎え、「ユニフェム東京」主催の報告会をおこなった。

1995年の北京会議より15年、どのように女性の地位が進展したか、レビューしよう。また国連としても2015年のミレニアム開発目標達成にあと5年というところに来て、今どこまで達成ができているか、また今後どのように進めていけばよいのかを考えていこうという会議であった。

国連のすべての組織が、国連ミレニアム開発目標（MDG's）達成を共通目標として掲げており、2015年までに右下図表のGoal 1からGoal 8までを達成することが命題になっている。「ジェンダー」という言葉が具体的に入っているのはGoal 3であるが、どのGoalの達成にもジェンダーの視点は欠かせない。国連のミレニアム開発目標と女性というのは非常に緊密な関係があると言える。

女性に関する問題については、北京会議以降、前進したこともあれば、改善の見られない部分もある。阻害要因としては貧困、暴力などがあげられるが、気候変動と一昨年のアメリカに端を発した経済金融危機は、1995年当時は予測できなかったものであるが、非常に大きな阻害要因として横たわった。

妊産婦の健康の改善は、最重要課題である。現在も、妊産婦の死亡が年間50万人に達し、1分に1人の割合で世界中どこかで死亡している。北京会議以降も大きな進展が見られず、MDG's達成にほど遠い現状を、私たちは変えていかなければならない。

一方、教育はこの15年で大きく進歩した。その要因は（1）義務教育化（2）授業料の廃止・免除（3）学校給食のプログラムの導入などが考えられる。女性の識字率と子どもの健康・死亡率には強い相関関係がある。女兒を教育することは、未来の生命を守ることになる。アフリカのサハラ砂漠以南では女性の識字率は50%以下



CSWに参加して帰朝報告をする
吉川真由美ユニフェム日本国内委員会常任理事

の著しく低い地域が多い。この地域は寿命も短く、健康も損ねている。女性に対する教育は、「生きる力」を育むことに他ならない。ユニフェムは、女性の教育の必要性をしっかりと訴えていきたい。

これまでもユニフェムはアフガニスタン、バングラデシュなど途上国における女性の教育プログラムを支援してきた。母親が読み書きができない。子どもが学校で習ってきて、家に帰っても母親は字が書けない、計算ができない。親としてこれほどつらいことはないという。6ヶ月の徹底した反復学習を行うが、貧困の中では学び続けるのが難しい。女子教育における課題は、量から質へと変化し、女性たちが受ける教育の質の向上が求められている。

国連ミレニアム開発目標（MDG's）

- Goal 1・・・極度の貧困と飢餓の撲滅
- Goal 2・・・普遍的初等教育の達成
- Goal 3・・・ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- Goal 4・・・乳幼児死亡率の削減
- Goal 5・・・妊産婦の健康の改善
- Goal 6・・・HIV/エイズ、マラリアその他の疾病の蔓延防止
- Goal 7・・・環境の持続可能性の確保
- Goal 8・・・開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

女性の雇用・職業範囲は継続して比較的狭く、経済状況悪化の際は、失業や退職など女性が男性より早期退職を迫られる。途上国における人間らしい仕事へ従事する機会創出も課題である。

ジェンダー4機関を統合し、新組織 誕生へ

今回のCSW 54の会合で、7つの決議がされ、その1つにUNIFEM、OSAGI（ジェンダー問題担当事務総長特別顧問）、DAW（経済社会局女性の地位向上部）、INSTRAW（国際婦人調査訓練研修所）の4機関を統合する決議がなされた。女性の地位向上に活動してきた4つの機関がひとつになり、効果的な動きをすることとなる。国連事務次長の直轄の機関となるので、強力なリーダーシップのもと、女性に関する課題解決が迅速に図られることが期待される。これら4つの機関の中で、世界各地にフィールドを持ち現地から上がってきた声を国連に伝え、国連での決定や意向を受けて各地で活動をしているのはUNIFEMだけだ。

《急告!》

新組織「UN Women」創設!

7月2日午後、国連総会で上記の4機関を統合し、UN Womenを設立することを全員一致で可決した。2011年1月1日からユニフェム国内委員会はUN Women国内委員会と生まれかわる。

イネス・アルベルティ事務局長は、「今日は終わりではなく、新たな始まりを画する日です。ユニフェムがこれまで支援してきたような努力は継続されながら、新しい機構に一体化していくこととなります。その機構は、もっと強固で、一貫性があり、より良い地位と資力を備えたものとなるでしょう」と喜びのメッセージを送った。

CSW とは?

Commission on the Status of Womenの略で、1946年に設置された国連の経済社会理事会の機能委員会。女性の地位向上に関して、その理事会に勧告・報告・提言を行い、9月に行われる国連総会に理事会から提言・勧告を行っていく。CSWは毎年2～3月、2週間開催され、この間ニューヨークの国連の会議場は、各国のNGOや政府代表団の女性たちで埋め尽くされる。

開発支援の新たな潮流

国連は、国連グローバルコンパクトという仕組みを構築し、企業との連携を模索している。各国のGDP（国内総生産）とグローバル企業の売上高を合算してみると、上位100位の中で企業が45社（2007年）入っている。国家に匹敵するほどの力を蓄えてきた企業に対し、応分の責任を負ってほしいと国連は期待を寄せる。日本も100社を超える大企業が、国連グローバルコンパクトに参加している。「住友化学」は年間100万人が死亡しているというマラリアにマラリア蚊の防虫ネットの開発で、タンザニアのメーカーに技術の無償貸与。現地生産で雇用を創出している。国際貢献は、「寄付」から「事業を通じた貢献」が新たな潮流となっている。

個人が直接、途上国の事業家を支援でき、その効果を実感できるシステムも増えている。また、「ビル&メリнда・ゲイツ財団」等の投資家が、バングラデシュに「アジア女子大学」を設立するなど、持続可能な社会を実現するために、貴重な人的資源としてアジアの女性に注目する企業・団体も増えている。



JUNE・JUNE・JUNE 第15回チャリティコンサート 友納 あけみ 「シャンソンの夕べ」

6月27日（日）、雲の間から僅かな日が差し込む夕べ、「ユニフェム東京」主催でシャンソン歌手・友納 あけみさんのライブが、渋谷の代々木上原駅からほど近い「ムジカーザ」で開催された。早くから来館された皆さんで1～3階の120の椅子は、満席。グラスワインを片手にプログラムを見て、心ははやる。

6時30分、ユニフェム東京の阿部会長の挨拶のあと、赤と黒のドレスで現れた友納さん。優しい笑顔で「ようこそ…」と自身の人生と重ね合わせながら語り、お馴染みの「巴里の屋根の下」から、恋の唄の数々「再会」、「ラ・ポエム」「夢の中に貴方がいる」など7曲を披露。夜の帳が降り、おとなのムードの中で時はすすむ。ピアノ・和田典久氏、ベースの和田弘氏の意気合った

共演で本格的舞台に…。15分の休憩のあと、「これからの人生で何か役に立つことがしたいと思う心境になったとき、小さな幾つもの出合が重なり、ユニフェムの活動を知り、今回のチャリティコンサートを引き受けた。世界の平和と女性の幸せのためこれからもユニフェムに協力したい」と言われ、「さとうきび畑」「千の風になって」「人生は過ぎていく」「愛の讃歌」等7曲を歌い上げ、熱い感動の一夜を繰り広げた。



<会員だより>

会員の皆さま、ドシドシおたよりをお送りください。お待ちしております！

「遠い夢」

町田 民世子 さん

(東京都江東区在住)

私は70歳になるまでの6年間に3つの目標を実現したいと心に誓っています。目標を持つこと、夢を持つことが、晩年にさしかかった今、大きな生き甲斐になると先輩たちに強く勧められたからです。トライする意欲が元気の源泉だと・・・。

その3つの目標とは、①長野マラソンを5時間で完走 ②シャンソンのリサイタルを開催 ③白馬岳への登頂です。このうち二番目の目標は練習さえ積みれば達成できるでしょうが、一番と三番目は可能性が低くそうです。長野マラソンには過去2回挑戦しましたが、30キロ地点で制限時間になり、その先を走ることはできませんでした。あと30分の短縮、つまり1キロにつき1分速く走るの

はかなり難しいのです。

シャンソンは去年から習い始め、10数曲覚えたところです。リサイタルでは最低20曲は用意しなければなりません、レッスンの回数を増やし、歌いこめば道は開けるでしょう。どんなことでも努力すればある程度はできると、この年齢になってようやくわかりました。たゆまぬ練習と努力は、相応の結果を残すものです。夢は叶う。若いころはそのことが分からず、才能がないと逃れ続けてきました。でも、始めた当初は6時間以上だったマラソンも、徐々にタイムが縮まり、5時間台になってきたではありませんか。やればできる、努力は実ると悟った今、全力を尽くす目標ができてとても嬉しいのです。



「11回目の個展」

大塚 京子 さん

(東京都板橋区在住)

1998年、板橋区女性海外派遣者としてデンマークへ教育視察後開いた初個展以来、11回目の油彩画展を、5月に開催しました。デンマークの魅力伝えたいと始めた報告展もその後は、年数回の各国大使館での研修を機にヨーロッパを旅し、その時々感動を描いて、ほぼ毎年回を重ねてきました。北欧文化を学び、デンマークやドイツの画家たちと交流し、

絵で世界平和の一助になればと思います。

母校国文学科会の古典文学鑑賞の活動を通して、日本文学の奥深さにも触れ、最近では京都・奈良など日本の美しい文化を次世代に伝えたいと日本美を探究しています。

自然の大切さを胸に、一人でも多くの方に絵の楽しさを伝え、ほっと心が和むような絵を描いていけたらと思っています。

《新作映画紹介》

松本 侑壬子 (映画評論家)

「レオニー」 松井 久子 監督 ＜愛と自立の不屈の生涯を描く＞

レオニーとは、世界的に知られる日米混血の彫刻家イサム・ノグチの母親レオニー・ギルモアのことである。これまで高名な息子の名の陰で、その存在はほとんど知られることはなかったが、レオニーの愛と自立の不屈の生涯は100年後の現代にも鮮やかな光を放ち続けている。

松井久子監督は7年前偶然原作(ドウス・昌代著『イサム・ノグチ』)を読んで感動、すぐに映画化を決意したが、厳しい日本映画界の状況下、望ましい協力はどこからも得られなかった。しかし、決して諦めることなく自ら14版にも及ぶ脚本を練り上げながら、日米を往復すること延べ52万^キ、地球と月の間を遥かに超える距離を飛びながら、着実に企画を具体化させていった。

主役のレオニー役にはエミリー・モーティマー(「Dear フランキー」「マッチポイント」)。日本側からは野口米次郎役に中村獅童をはじめ、原田美枝子(津田梅子役)、竹下景子(小泉セツ役)、吉行和子、中村雅俊らが出演。撮影監督は、在仏の実力派、永田鉄男(「エディット・ピアフ」)。20世紀初頭のニューヨークからカリフォルニア、明治・大正時代の東京、横浜、茅ヶ崎、そして現代の高松、札幌…の美しい風景が永田カメラマンの手により大画面に蘇える。

息子の才能を信じ、運命を引き受けて未知の国ニッポンで懸命に生きたレオニーの見事な生涯を描く本作は、今秋11月に全国で角川映画配給で公開される。



「宮古島から」

下地 揚子 さん

(沖縄県・宮古島在住)

4月4日、日本一早い海開きが宮古島の前浜ビーチで行われました。ふだん静かなビーチも、3千人の人で賑わいました。「サンダル飛ばし競争」など今年初めてのゲームも取り入れられました。

また、変わった風習といえば、公立高校の入学試験の2日間は、家族や親戚が集まって、お昼のお弁当をたくさん作り学校に行き、まるでピクニックのように受験生を囲んで弁当を広げます。「受験に勝つ」をかついで、トンカツが入ったりで、親戚中が応援します。



連続講座(第3回)



日時・9月15日(水) 13:30~15:30

テーマ・「開発とユニフェム」その2

講師・ランデス ハル氏

(元青山学院大学教授)

会場・津田塾大学同窓会会議室

7月の第2回講座「『開発とユニフェム』その1」では、開発問題を理解する手がかりとして開発経済論について学びました。「その2」では、より実り豊かなユニフェム支援をいろいろな角度から探ります。会員の皆さまも、ふるってご参加ください。

＜ユニフェム東京・事務所で勉強会＞

4月22日(木)、6月17日(木)の両日、ニューヨーク本部からのユニフェムニュース(カレンツ)を基に、平野和子日本国内委員会常任理事を



迎えての勉強会を実施。2回目は、国連安全保障理事会決議1325号の18項目の内容についての理解を深めた。次回の参加希望者はメールで問合せを!

ユニフェム東京・クリスマス

第16回 チャリティコンサート

鷺淵 紹子(おしぶち つぎこ)

パイプオルガン 演奏会

日時: 12月6日(月)

13:30 開場

14:00 開演



会場: 武蔵野市民文化会館小ホール

(JR・東西線三鷹駅下車徒歩13分)

(JR・吉祥寺駅下車バス)

全席自由席: 一般 3,000円 学生 1,000円

申し込み: 9月6日(月)より受付開始

17~19世紀のバロック・ロココ…オルガン文化の全盛期の代表曲等を、京都のオルガニスト鷺淵紹子氏が東京で久々に開く演奏会。

いのちに響く‘天使の贈りもの’。西欧の歴史と文化の世界に皆さまをお誘いします。

初めての方もこの機会にパイプオルガンの魅力に触れてください。



☆ご入会・ご寄付いただき、有難うございます。



新規会員: 鷺見誠一 小館知子 坂本清音 阪田美枝 寺内資子 渡辺鈴子 大塚純子 杉田喜美枝 中西眞基子 佐藤知子 佐川敦子 星野利江子 長濱節子 石川満寿江 露木登喜子 井上正子 佐伯和子 亀割糸子 出野公子 福島陽子 澤 英子 板橋美津子 斉藤敏子 坪田さい子 野澤里栄 山田康子 荒井明美 野村みさ子 沖田奈保子 藤間春素娥 ライフプラザ21(代表上原淳子) 加藤智子 佐藤美智子 渋川弘子 原 節子 杉岡保子 村田良子 森本万里 後藤静子 松村恵美子 玉井美穂子

寄付者: 山田美也子 池田露子 奥田豊子 久保典子 加藤智子 佐藤美智子 尾高富佐子 高松 健 吉田順子 西村洋子

活動寄付者: 山田美也子 背戸民恵 福田文子 五十嵐康子 田中智以子 阿部幸子 鷺見八重子

2010年7月7日まで (敬称略)

【編集後記】

★「95年北京会議」に出席し、バイタリティ溢れるアフリカの女性たちに、来たる世紀を予想した。当時の深刻な状況の壁は変わらず厚いが、少しずつでも崩れてほしい。当時静かだった中国がGDP世界第2位と21世紀の潮流は新たな展開。南アでのサッカーが世界を駆け巡った。G20で主要国から除外された日本は、上から下まで「平和ボケ」から醒めない…。経済危機とともに世界的気候変動も深刻。この夏も北緯40度から30度までの地球上に40℃以上の熱波が襲う。呉越同舟で人間の英知をかつての清貧な生き方と「持続可能な開発」へと結集しなければならないのでは。

ユニフェム東京NEWS 第31号

発行人: ユニフェム東京会長 阿部 幸子

発行日: 2010年7月30日

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1
ニューステートメナー331

Tel&Fax 03-6228-0029

郵便振替:00190-6-5508800

<http://www.unifemtokyo.org>